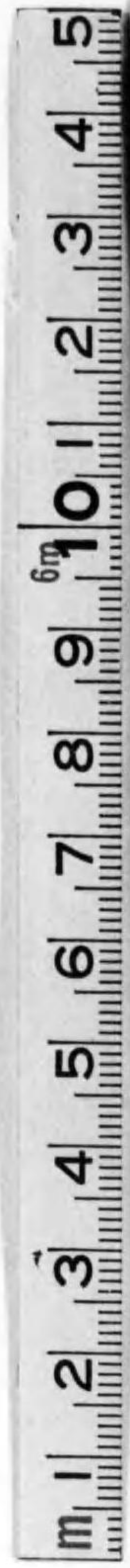


始



共済組合事業成績 昭和五年度
事業従事員共済組合

14.4
823

共濟組合事業成績

昭和五年度

內務省內

土木事業従事員

共濟組合

14.4-823

(1)

土木事業従事員共済組合事業成績

第一 總 說

本組合ハ大正十二年勅令第三百三十二號ニ基キ内務省直轄ノ土木事業ニ従事スル雇員以下ノ現業員相互救済ノ目的ヲ以テ同年八月一日創設其ノ事務ハ内務次官統轄ノ下ニ土木局長、土木出張長所、土木試験所長之ヲ分掌ス

昭和二年一月健康保險法ニ因ル給付ノ實施ニ際シ組合規則ヲ改正健康保險ニ因ル給與ト同一程度ノ給付ニ改メ健康保險代行ノ組合ニ指定セラレ昭和四年七月一日強制被保險者以外ノ者ノ健康保險包括加入承認セラレ

組合員ハ之ヲ甲乙ノ二種ニ分ツ現場従務ノ雇員及定備ノ職工傭人(健康保險法施行令第九條但書ノ規定ニ該當スルモノヲ含ム)ヲ甲種組合員トシ其ノ他ノ者加入スルトキハ總テ乙種組合員トス

甲種組合員ノ掛金ハ給料月額ノ百分ノ五・五(昭和元年迄ハ百分ノ五)乙種組合員ノ掛金ハ給料月額ノ百分ノ十一(昭和元年迄ハ百分ノ九)ニシテ毎月支拂フヲ原則トス

政府給與金ハ大正十二年勅令第三百三十二號(一時金給付ノ關係)ニ基キ甲種組合員給料總額ノ百分ノ二ヲ、大正九年勅令第八十號(年金給付ノ關係)ニ基キ同シク百分ノ二ヲ受ケ更ニ健康保險代行ノモノニ付昭和元年勅令第五號ニ

(2)

基キ政府給與金ヲ受ク昭和三年十月ヨリ勅令第一項但書適用ノ承認アリ保險給付額中業務上ニ因ル額ノ全部及業務外ニ因ル額ノ五分ノ二相當額ヲ受ク

組合ノ給付ハ公傷病給付(一)私傷病給付(二)産婦給付(三)罹災給付(四)脱退給付(五)遺族給付(六)葬祭給付(七)ノ七種トス

(一) 公傷病給付

種	別	給	付
公傷病療養		直接療養又ハ療養費支給	
公傷病手当金		給料日額ノ百分ノ六十	
障害年金	一級 終身自用ヲ辨シ得サルトキ	給料ノ六月分乃至八月分	
	二級 終身業務ニ就クコト能ハサルトキ	給料ノ三月分乃至五月分	
障害一時金	三級 從來ノ業務ニ從フコトヲ得サルトキ	給料ノ六月分乃至一年六月分	
	四級 身體ニ障害ヲ存スルモ引續キ從來ノ業務ニ從フコトヲ得サルトキ	給料ノ四十分日乃至五月分	

(二) 私傷病給付

種	別	給	付
私傷病療養		直接療養又ハ療養費支給	
私傷病手当金		給料日額ノ百分ノ六十	
療疾一時金	終身自用ヲ辨シ得サルトキ	給料六月分乃至八月分	
	終身業務ニ就クコト能ハサルトキ	給料三月分乃至五月分	
特症一時金	傳染性疾患ニ因リ解職セラレ因テ脱退シタルトキ	給料三月分	

(3)

(三) 産婦給付

種	別	給	付
分娩金		二十圓	産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當ヲ爲シタルトキハ十圓
出産手当金		給料日額ノ百分ノ六十	
産院收容又ハ助産手當		直接給付	

(四) 罹災給付

非常ノ災厄ニ罹リ財産ニ著シキ損害ヲ受ケタルトキ給料半月分乃至二月分ニ相當スル罹災金ヲ給付

(五) 脱退給付

種	別	給	付
脱退年金	加入二十年以上ナルコト年齢五十歳以上又ハ事業上ノ都合職務ニ耐ヘサル傷疾疾病ノモノ	加入二十年ノ者ニ對シ給料三月分尙一年ヲ加フル毎ニ給料三日分ヲ加フ	
脱退一時金		掛金總額(昭和二年以後ハ掛金ノ内給料ノ百分ノ五ニ相當スル分)ニ給付乗數ヲ乘シタル額(加入期間三年以上ハ年五分五厘ノ利付ニ相當ス)	

(六) 遺族給付

種	別	給	付
遺族年金		職務上ニ因ル死亡ノ場合加入二十年未滿ノトキ給料三月分二十年以上ノトキ給料四月分	
遺族一時金		給料三月分業務外ニ因ル死亡ノ場合ハ脱退一時金ノ額マテ増額ス	

(4)

(七) 葬祭給付

職務ノタメ死亡シタルトキ

給料二月分 (其ノ金額三十圓ニ滿)
タサルトキハ三十圓

職務ノ爲ニ非スシテ死亡シタルトキ

給料一月分

第二 昭和五年度ノ成績

1. 組合員

五年度末現在組合員數六千二百六十一名(内女六十二)總テ甲種組合員トス

組合員中健康保險強制加入九百五十五名(内女三)任意包括加入五千三百六名(内女五十九)其ノ局所別次ノ如シ

強制被保險者	總數	土木出張所							
		東京	横濱	仙臺	新潟	名古屋	大阪	神戸	下關
工手	80	8	19	7	18	7	7	6	8
其他ノ雇員	52	2	—	21	4	7	3	4	11
備人	823	73	167	166	102	84	68	61	102
計	955	83	186	194	124	98	78	71	121

五年度中ノ脱退數 143 内死亡 1
 同 新加入 35
 同 從務變更轉入 11
 同 同 轉出 28

(5)

任意包括被保險者	總數	土木局	土木出張所							土試驗木所	
			東京	横濱	仙臺	新潟	名古屋	大阪	神戸		下關
工手	917	18	262	65	96	193	76	109	43	55	—
其他ノ雇員	410	—	83	1	69	60	43	76	35	42	1
備人	3,979	—	599	488	362	527	304	460	842	397	—
計	5,306	18	944	554	527	780	423	645	920	494	1

五年度中ノ脱退數 478 内死亡 43
 同 新加入 316
 同 從務變更轉入 117
 同 同 轉出 100

2. 收入

五年度ニ於ケル組合ノ實收額ハ六拾參萬七千五百六拾六圓四拾貳錢ニシテ各收入ノ割合ハ政府給與金三割六分九厘、組合員掛金四割一厘、利息二割三分之ヲ健康保險關係ト否ラサルモノトニ區別スレハ次ノ如シ

收入種別	總額	保險關係	保險關係ナキモノ
政府給與金	235,475.30	65,055.89	170,419.41
内 { 大正九年及十二年ノ勅令ニ依ルモノ	186,250.67	15,831.26	170,417.41
	49,224.63	49,224.63	—
昭和一元年ノ勅令ニ依ルモノ	—	—	—
組合員掛金	255,785.25	46,905.42	208,879.83
利息及雜部收入	146,305.87	—	146,305.87
計	637,566.42	111,961.31	525,605.11

政府給與金ト組合員掛金ノ給料總額ニ對スル割合ハ次ノ如シ

區分	政府給與金	組合員掛金
大正九年勅令(年金關係)	2 100	2 100
大正十二年勅令(一時金關係)	2 100	3 100
内 保 險 關 係	0.34 100	0.51 100
昭和元年勅令(保險關係)	1.05 100	0.50 100

3. 支 出

五年度ニ於ケル組合ノ實支出額ハ貳拾參萬九千五百九拾四圓九拾貳錢ニシテ内事業費貳百四拾八圓事務費千五拾九圓四拾壹錢ヲ控除シタル貳拾參萬八千貳百八拾七圓五拾壹錢ヲ各給付別トナストキハ給付人員、給付額及其給料總額(4,656千圓)ニ對スル割合次ノ如シ

種別	公傷病療養	同 手當金	私傷病療養	同 手當金	葬 祭 金
給付人員	620人	336人	1,469人	578人	54人
給付額	17,772.98円	9,649.41円	43,024.00円	20,667.74円	3,481.20円
給料總額ニ對スル割合(千分)	3.82	2.07	9.24	4.44	0.75
種別	産婦給付	障害一時金	癩疾一時金	特症一時金	遺族一時金
給付人員	2人	15人	13人	7人	44人
給付額	58.00円	5,295.40円	2,949.00円	937.80円	9,482.79円
給料總額ニ對スル割合(千分)	0.01	1.14	0.63	0.20	2.04
種別	罹災給付	脱退一時金	障害年金	遺族年金	計
給付人員	11人	561人	4人	24人	3,738人
給付額	1,106.55円	119,606.13円	771.56円	3,484.95円	238,287.51円
給料總額ニ對スル割合(千分)	0.24	25.69	0.16	0.75	51.18

前記支出總額ノ内健康保險代行ニ屬スル金額ハ公傷病

療養以下産婦給付ニ至ル六費目九萬四千六百五拾參圓參拾參錢ニシテ給付人員三千五十九人ナリ

4. 收 支 勘 定

昭和二年度ニ於テ健康保險ノ給付額著シク豫算ニ超過シ一般經濟ヨリ貳萬餘圓流用シタルモ年々之ヲ償却シ本年度ヲ以テ完了セリ五年度ノ收支關係次ノ如シ

種別	五年度實收額	前年度過不足	差 引
總 額	637,566.42円	過 1,284.39円	638,850.81円
保 險 關 係	111,961.31円	△ 2,785.84円	109,175.47円
同 關 係 外	525,605.11円	過 4,070.23円	529,675.34円
種別	五年度支出額	責任準備積立	後年度繰越
總 額	239,594.92円	364,716.17円	34,539.72円
保 險 關 係	94,653.33円	—	14,522.14円
同 關 係 外	144,941.59円	364,716.17円	20,017.58円

5. 財 産 ノ 管 理

昭和六年四月末ノ組合財産ノ總額ハ貳百六拾九萬參百貳拾圓拾壹錢其ノ内貳百六拾七萬六千九拾五圓拾參錢ハ大正十二年度ヨリ昭和五年度ニ至ル責任準備積立金ニシテ差引壹萬四千百貳拾四圓九拾八錢ハ六年度ニ繰越シタル金額ノ一部ナリ其ノ保管方法別次ノ如シ

有 價 證 券	2,674,205.00円
銀 行 預 金	16,115.11円

5. 給 付 ノ 狀 況

(一) 健康保險代行ノ給付

五年度ノ保險給付ハ前年度ニ比シ件數ニ於テ四百三十

(8)

五件費用額ニ於テ壹萬五千九百八拾八圓九拾七錢ヲ増セ
リ本年度給付ノ細別次ノ如シ

種別	件数			日数			費用額			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
療養ノ給付	業務上	749	—	749	17,130	—	17,130	18,079.42	—	18,079.42
	業務外	1,843	15	1,858	48,221	348	48,569	41,679.21	678.17	42,357.38
	計	2,592	15	2,607	65,351	348	65,699	59,758.63	678.17	60,436.80
療養費	業務上	8	—	8	333	—	333	137.87	—	137.87
	業務外	59	3	62	1,754	22	1,776	1,779.47	11.63	1,791.10
	計	67	3	70	2,087	22	2,109	1,917.34	11.63	1,928.97
傷病手当金	業務上	383	—	383	8,113	—	8,113	9,681.25	—	9,681.25
	業務外	634	5	639	17,323	104	17,427	20,690.76	28.58	20,719.34
	計	1,017	5	1,022	25,436	104	25,540	30,372.01	28.58	30,400.59
埋葬料	業務上	5	—	5	—	—	—	642.60	—	642.60
	業務外	42	1	43	—	—	—	2,512.70	30.00	2,542.70
	計	47	1	48	—	—	—	3,155.30	30.00	3,185.30
埋葬費	業務外	5	1	6	—	—	—	288.30	15.00	303.30
分娩費	—	2	2	—	—	—	—	40.00	—	40.00
出産手当金	—	2	2	—	85	85	—	20.40	—	20.40
合計	3,728	29	3,757	92,874	559	93,433	95,491.58	823.78	96,315.36	

(本表ハ給付ノ計數ニシテ支出ト致セサル場合アリ)

療養ノ給付ナキモノ計十人(業務外)療養費支給四人(腸チフス、脳出血、肺炎、呼吸器疾患)官費治療中死亡一人(精神病)自費療養中死亡二人(肺炎、盲腸炎)即死三人(心臓病、自殺、凍死)

(9)

(イ) 療養ノ給付

土木出張所	業務上			業務外		
	件数	日数	費用額	件数	日数	費用額
東京	54	1,329	1,271.80	223	7,151	6,977.55
横浜	240	6,593	8,257.93	501	9,290	6,182.95
仙臺	116	2,912	1,547.29	199	6,111	4,770.44
新潟	77	972	583.45	289	6,945	4,514.74
名古屋	34	421	253.99	106	2,754	2,027.65
大阪	45	828	467.77	229	6,279	4,718.17
神戸	95	2,289	3,969.98	206	6,346	7,442.29
下關	88	1,786	1,727.21	104	3,664	5,624.42

外ニ土木局業務外一人二十九日九十九圓十七錢

(ロ) 療養費給付

土木出張所	業務上			業務外		
	件数	日数	費用額	件数	日数	費用額
東京	—	—	—	5	281	226.45
横浜	1	127	57.90	12	472	525.65
新潟	7	206	79.97	45	1,023	1,039.00

(ハ) 傷病手当金

土木出張所	業務上			業務外		
	件数	日数	費用額	件数	日数	費用額
東京	18	370	469.66	73	3,222	4,187.63
横浜	147	3,497	4,649.06	105	2,379	3,035.78
仙臺	49	1,077	1,151.93	70	1,771	2,093.12
新潟	29	325	345.97	88	1,511	2,290.04
名古屋	19	194	230.94	37	840	757.93
大阪	17	355	404.03	67	1,751	2,013.56
神戸	54	1,445	1,399.68	147	4,042	4,424.21
下關	50	850	1,029.98	52	1,911	1,917.07

(一) 埋葬料及埋葬費

土木出張所	埋 葬 料				埋 葬 費	
	業 務 上		業 務 外		業 務 外	
	件 數	費用額	件 數	費用額	件 數	費用額
東 京	1	116.70	4	297.70	4	258.30
横 濱	—	—	7	401.10	—	—
仙 臺	—	—	4	202.50	—	—
新 潟	—	—	7	455.50	—	—
名 古 屋	1	152.40	5	258.30	—	—
大 阪	—	—	4	227.10	—	—
神 戸	2	289.80	7	453.40	1	30.00
下 關	1	84.00	5	247.10	1	15.00

(二) 障害一時金(公傷病給付) 廢疾一時金 特症一時金(私傷病給付)

土木出張所	障 害 一 時 金		廢 疾 一 時 金		特 症 一 時 金	
	件 數	費用額	件 數	費用額	件 數	費用額
東 京	1	361.20	7	1,661.10	2	313.20
横 濱	10	3,978.60	1	196.20	1	135.00
仙 臺	2	156.80	1	136.80	—	—
新 潟	—	—	1	231.00	—	—
名 古 屋	—	—	—	—	—	—
大 阪	—	—	—	—	1	126.00
神 戸	2	798.80	1	404.40	—	—
下 關	—	—	2	319.50	3	363.60
計	15	5,295.40	13	2,949.00	7	937.80

(三) 罹災給付、脱退一時金及遺族一時金

土木出張所	罹 災 給 付		脱 退 一 時 金		遺 族 一 時 金	
	件 數	費用額	件 數	費用額	件 數	費用額
東 京	4	551.40	203	56,500.10	5	1,424.77
横 濱	—	—	53	9,592.29	6	1,238.84
仙 臺	—	—	44	7,732.07	3	604.57
新 潟	2	133.20	87	14,768.98	5	1,151.45
名 古 屋	1	180.00	29	3,618.87	7	1,347.20
大 阪	—	—	74	19,027.35	2	316.80
神 戸	4	241.95	32	2,920.12	10	2,260.57
下 關	—	—	39	5,446.35	6	1,138.59
計	11	1,106.55	561	119,606.13	44	9,482.79

五年度脱退一時金ノ給付財源拾七萬九千九百七圓八拾四錢規則第三十八條ノ控除額五千參百五圓六拾錢ト支拂額トヲ差引キタル殘五萬四千九百九拾六圓拾壹錢ハ責任準備金ニ編入ス

(四) 年金給付

障害年金(公傷病給付)ノ五年度給付財源九千七拾九圓貳拾錢組合員給料總額ノ百分ノ0.195)支拂七百七拾壹圓五拾六錢(新潟一人105.28 大阪三人666.28)差引額八千參百七圓六拾四錢ハ責任準備金ニ編入ス

脱退年金ハ未タ支拂ナキヲ以テ五年度給付財源拾六萬參千五百拾八圓七拾貳錢組合員給料總額ノ百分ノ3.512)全部ヲ責任準備金ニ編入ス

遺族年金ノ五年度給付財源壹萬四千貳百四拾七圓參拾六錢(組合員給料總額ノ百分ノ0.306)支拂額參千四百八拾四圓九拾五錢ヲ差引キタル殘壹萬七百六拾貳圓四拾壹錢ハ責任準備金ニ編入ス五年度支拂額土木出張所別次ノ如シ

東京	9	1,454.98	大阪	3	535.48
仙臺	3	434.68	神戸	1	125.39
新潟	1	126.00	下關	5	621.84
名古屋	2	186.58	計	24	3,484.95

第三 創立以來ノ經過

1. 組合員

本組合創立當時(大正十二年八月)ノ組合員數七千二百十四人ナリシモ大震災後ノ事業縮少ニ因リ十三年三月同十二月ノ兩度ニ千餘名減少爾來六千人ヲ上下スル趨勢ナリ

大正十三年四月初	6,940	大正十四年四月初	5,812
大正十五年四月初	5,983	昭和二年四月初	6,322
昭和三年三月末	6,400	昭和四年三月末	6,380
昭和五年三月末	6,531	昭和六年三月末	6,261

2. 收入

本組合ハ昭和二年度ノ保險給付支拂劇増ノ爲後年度ヨリ貳萬餘圓ヲ繰上ケタルモ三年度及四年度ニ於テ之ヲ償却シ五年度ニ於テ始メテ相當ノ繰越金ヲ見ルニ至レリ

收入科目	元年度以前	二年度	三年度	四年度	五年度
政府給與金	667,053.73	193,221.93	200,498.65	228,691.27	235,475.30
現業員掛金	836,335.96	254,546.71	261,639.05	261,372.50	255,785.25
利息	139,294.07	90,725.54	104,698.60	119,820.83	146,278.37
雜部收入	18,588.27	336.60	3,513.12	—	27.50
計	1,661,272.03	538,830.78	570,349.42	609,884.60	637,566.42
前年度繰越金	—	15,340.87	—	3,317.10	1,810.33
後年度繰上金	—	20,864.41	13,390.19	525.94	—
合計	—	575,036.06	583,739.61	613,727.64	639,376.75

甲種組合員 給料總額	大正十二年度	3,391	大正十三年度	4,588
	同十四年度	4,238	昭和元年度	4,405
	昭和二年度	4,635	同三年度	4,762
	同四年度	4,760	同五年度	4,656

3. 支出

既往ノ支出ハ大體ニ於テ豫定額ニ近ク單ニ昭和二年度ノ療養給付ニ於テ約貳萬圓ノ超過支出ヲ見タルニ過キス

支出科目	元年度以前	二年度	三年度	四年度	五年度
公傷病療養	80,744.28 ^円	21,078.37 ^円	16,796.00 ^円	16,780.89 ^円	17,772.98 ^円
同手當金	—	—	1,644.33	8,306.38	9,649.41
私傷病療養	7,625.50	72,849.18	43,458.51	48,277.75	43,024.00
同手當金	35,753.14	24,217.68	17,604.13	20,593.63	20,667.74
葬祭給付	10,674.70	3,122.93	2,777.26	3,230.99	3,481.20
産婦給付	44.02	161.46	43.40	20.00	58.00
小計	134,841.64	121,429.62	82,323.63	97,209.64	94,653.33
障害一時金	24,577.66	4,004.20	6,220.80	7,508.00	5,295.40
癱疾一時金	3,187.50	3,401.70	606.60	1,865.90	2,949.00
特症一時金	5,639.40	3,197.70	1,362.90	3,383.40	937.80
罹災給付	32,364.40	936.90	831.65	507.20	1,106.55
遺族一時金	29,256.57	7,706.89	6,926.85	8,372.10	9,482.79
脱退一時金	170,812.48	71,498.20	81,679.89	131,319.46	119,606.13
小計	265,838.01	90,745.59	97,628.69	452,956.06	139,377.67
障害年金	582.00	534.00	612.96	716.44	771.56
遺族年金	2,759.80	2,049.62	2,603.16	2,941.45	3,484.95
給付計	404,021.45	214,758.83	183,168.44	253,823.59	238,287.51
事業費	974.96	205.80	245.91	273.27	248.00
事務費	6,213.40	1,143.10	1,505.44	1,267.64	1,059.41
合計	411,209.81	216,107.73	184,919.79	255,364.50	239,594.92

昭和元年十二月以前ハ公傷療養ニ關スル給付ハ醫療金ト稱シ私傷病手當金ハ休養金ト稱シタルモ便宜之ヲ公傷

病療養又ハ私傷病手當金中ニ合算セリ

4. 責任準備積立金

創立以來ノ積立額貳百六拾七萬六千百九拾五圓拾參錢
其内譯次ノ如シ

區別	元年度以前	二年度	三年度	四年度	五年度
障害年金關係	34,136.78 ^円	8,504.25 ^円	8,672.94 ^円	8,565.56 ^円	8,307.64 ^円
脱退年金關係	583,764.64	162,781.20	167,241.44	167,171.20	163,518.72
遺族年金關係	48,714.37	12,133.48	11,968.56	11,624.15	10,762.41
脱退一時金關係	473,707.04	107,598.20	99,103.08	47,544.33	54,996.11
小計	1,140,322.83	291,017.13	286,986.02	234,905.24	237,584.88
積金利息	94,426.87	67,911.20	87,652.29	108,257.38	127,131.29
計	1,234,749.70	358,928.33	374,638.31	343,162.62	364,716.17

附表

- 一 組合員給料別人員(五年度末)
- 二 同加入期間別
- 三 五年度脱退者ノ加入期間別
- 四 五年度療養及傷病手當金ノ給付期間別件數
- 五 療養ノ給付ヲ爲シタル疾病負傷ノ轉歸別

附表ノ一 組合員給料別人員 (五年度末)

本表中強制トアルハ強制被保険者、任意トアルハ任意包括加入ノ被保険者トス

() 内ハ日給者

給料区分	工 手		其他ノ雇員		備 人	
	強 制	任 意	強 制	任 意	強 制	任 意
月給 120.00 以上 日給 (4.00) 以上	4	14	—	—	—	2
112.50 (3.75)	—	2	(1)	—	(5)	(3)
97.50 (3.25)	5	71	—	—	(7)	(1)
88.50 (2.95)	7	89	—	—	(35)	(18)
79.50 (2.65)	19	171	7	64	(1)	(56)
70.50 (2.35)	12	88	7	50	(92)	(143)
61.50 (2.05)	12	143	7	61	(165)	(306)
52.50 (1.75)	10	118	5	47	(2)	(506)
43.50 (1.45)	6	98	—	42	(6)	(1,040)
34.50 (1.15)	(1)	(58)	(9)	(33)	(100)	(1,285)
25.50 (0.85)	2	23	3	27	(2)	(473)
(0.75)	(2)	(28)	(2)	(41)	(53)	(64)
(0.65)	—	1	1	6	(2)	(14)
(0.55)	—	—	—	(1)	(3)	(64)
(0.45)	—	—	—	—	(6)	(11)
(0.35)	—	—	—	—	(3)	(15)
(0.35)未滿	—	—	—	—	(2)	(17)
合 計	77 (3)	813 (104)	30 (22)	297 (113)	— (823)	21 (3,958)

給料月額 工手 70,910.60 雇員 27,408.50 備人 273,870.11 五年度總人員 6,261

附表ノ二 組合員加入期間別 (五年度末人員)

區 分	一 年 未 滿	二 年 未 滿	三 年 未 滿	四 年 未 滿	五 年 未 滿	六 年 未 滿	七 年 未 滿	八 年 未 滿
	滿 年 數	—	一 年	二 年	三 年	四 年	五 年	六 年
一 月	10	29	79	105	80	31	68	37
二 月	20	7	21	21	36	20	13	26
三 月	9	11	20	41	170	83	99	88
四 月	67	165	162	146	41	10	16	59
五 月	11	7	24	23	12	13	11	30
六 月	19	348	21	38	27	22	28	23
七 月	32	20	29	42	29	20	26	45
八 月	12	12	27	34	13	23	9	2,429
九 月	26	84	69	51	41	46	40	—
十 月	56	50	22	50	31	36	30	—
十 一 月	40	37	27	33	19	26	23	—
計	302	781	529	623	561	341	377	2,747

總人員 6,261

附表ノ三 脱退者ノ加入期間別 (五年度)

(本表ニハ死亡者ヲ含マス)

區分	一年未滿	二年未滿	三年未滿	四年未滿	五年未滿	六年未滿	七年未滿	八年未滿
	滿年	一年	二年	三年	四年	五年	六年	七年
端數		4	3	8	7	5	1	35
一月	—	4	2	5	2	2	3	36
二月	2	4	1	4	2	5	5	8
三月	—	2	4	4	3	7	1	11
四月	2	9	6	3	2	4	4	20
五月	2	3	2	2	1	3	—	7
六月	5	11	5	5	3	4	3	6
七月	5	5	3	4	1	4	2	10
八月	4	4	9	7	1	1	14	75
九月	1	10	8	2	5	1	12	—
十月	3	3	10	3	1	3	28	—
十一月	2	4	11	—	1	1	27	—
計	26	63	64	47	29	40	100	208

總人員 577

附表ノ四 療養及傷病手當金ノ給付期間別件數 (五年度)

()内ハ女

給付期間	療養直接給付件數				傷病手當金給付件數			
	業務上		業務外		業務上		業務外	
	疾病	負傷	疾病	負傷	疾病	負傷	疾病	負傷
三日以下	—	63	78 (1)	3	—	39	66 (1)	2
七日以下	—	130	279 (3)	6	1	94	133	1
十五日以下	1	224	523 (3)	13	—	96	108 (1)	5
三十日以下	1	176	468 (5)	18	1	77	137 (2)	3
六十日以下	—	103	468 (2)	6	—	45	92 (1)	3
九十日以下	—	25	105 (1)	1	—	12	37	—
百二十日以下	—	6	39 (1)	1	—	6	21	—
百五十日以下	—	7	16	—	—	3	12	—
百八十日以下	—	13	23	—	—	9	14	—
計	2	747	1,799 (16)	48	2	381	620 (5)	14

附表ノ五 療養ノ給付ヲ爲シタル疾病又ハ負傷ノ轉歸別

(一) 公傷病療養直接給付ノ分 (五年度)

公傷病類別	治癒		死亡		制限期間ヲ超エ給付打切		未治癒	
	件數	療日數	件數	療日數	件數	療日數	件數	療日數
神經系及感覺器ノ疾患	1	20	—	—	—	—	—	—
34 神經痛	1	20	—	—	—	—	—	—
呼吸器ノ疾患	1	10	—	—	—	—	—	—
51 肋膜炎	1	10	—	—	—	—	—	—
外因死傷	692	14,275	4	20	9	1,519	42	1,286
91 打撲傷	159	3,327	1	4	1	180	10	403
92 擦過傷	12	95	—	—	—	—	—	—
93 火傷	25	324	—	—	1	79	2	31
95 切傷裂傷及刺傷	110	1,754	—	—	1	180	4	37
96 切斷	3	278	1	14	—	—	1	12
97 脱臼	1	16	—	—	—	—	1	67
98 挫傷	196	4,031	—	—	3	540	10	246
99 骨折	47	2,204	2	2	3	540	8	283
100 其他ノ負傷	139	2,246	—	—	—	—	6	207
公傷病計	694	14,305	4	20	9	1,519	42	1,286

(二) 私傷病療養直接給付ノ分 ()内ハ女

私傷病類別	治癒		死亡		制限期間ヲ超エ給付打切		未治癒	
	件數	療日數	件數	療日數	件數	療日數	件數	療日數
流行病地方病傳染病	101 (1)	2,153 (4)	9 (1)	384 (16)	2	240	6	186
1 腸チフス	3	101	2	35	—	—	—	—
4 痘瘡	1	11	—	—	—	—	—	—
5 麻疹	1	88	—	—	—	—	—	—
8 流行性感胃	74 (1)	958 (4)	1	19	—	—	2	30
11 丹毒	3	33	—	—	—	—	—	—
14 肺結核	7	388	5 (1)	247 (16)	2	240	3	112
15 腸及腸膜ノ結核	—	—	1	83	—	—	—	—
16 微毒	—	—	—	—	—	—	1	44
18 疥癬	2	168	—	—	—	—	—	—
19 其他	10	406	—	—	—	—	—	—
全身病	200 (1)	4,028 (6)	2	51	1	121	10	347
20 悪性腫瘍	1	6	—	—	—	—	—	—
21 良性腫瘍	5	72	—	—	—	—	—	—
22 急性關節レウマチス	13	300	—	—	—	—	—	—
23 慢性レウマチス及痛風	4	278	—	—	—	—	—	—
24 脚氣	50	1,647	1	19	1	121	3	202
25 糖尿病	1	10	—	—	—	—	—	—
26 貧血病及萎黄病	1	33	—	—	—	—	—	—
27-2 感冒	93 (1)	1,077 (6)	—	—	—	—	3	22
28 其他	32	605	1	32	—	—	4	123

前 表 ノ 續	治 癒		死 亡		制限期間ヲ 超ニ給付打切		未 治 癒	
	件數	療 養 日 數	件數	療 養 日 數	件數	療 養 日 數	件數	療 養 日 數
神經系及感覺器ノ疾患	245 (1)	6,754 (20)	4	131	9	1,156	13	479
29 腦 膜 炎	2	47	—	—	—	—	—	—
30 腦 出 血	—	—	3	103	3	181	—	—
31 腦 卒 中	1	28	—	—	—	—	1	106
32 神 經 炎	1	12	—	—	—	—	—	—
34 神 經 痛	55	1,302	—	—	—	—	2	14
36 神 經 衰 弱	28	1,189	—	—	—	—	2	73
37 眼及其附屬器ノ疾患	92 (1)	2,219 (20)	—	—	1	133	4	167
38 ト ラ ー ホ ム	11	493	—	—	1	180	3	41
39 耳及乳嘴竇ノ疾患	37	874	—	—	1	180	—	—
40 精 神 病	—	—	—	—	3	482	—	—
41 其 他	18	590	1	28	—	—	1	78
血 行 器 ノ 疾 患	51	1,787	2	199	5	652	6	204
42 痔 核	30	1,214	—	—	—	—	2	49
43 心臓ノ器質的疾患	11	293	2	199	2	231	3	114
44 其 他	10	280	—	—	3	421	1	41
呼 吸 器 ノ 疾 患	164 (1)	5,012 (4)	7	116	7 (1)	1,223 (21)	24	1,032
45 鼻腔及其附屬器ノ疾患	33	984	—	—	—	—	2	52
46 喉 頭 ノ 疾 患	14	180	—	—	—	—	—	—

前 表 ノ 續	治 癒		死 亡		制限期間ヲ 超ニ給付打切		未 治 癒	
	件數	療 養 日 數	件數	療 養 日 數	件數	療 養 日 數	件數	療 養 日 數
47 急性氣管支炎	46 (1)	891 (4)	1	6	—	—	5	154
48 慢性氣管支炎	11	288	1	56	1	180	1	28
49 氣管支肺炎	6	233	1	7	—	—	1	115
50 肺 炎	9	319	4	47	—	—	4	150
51 肋 膜 炎	31	1,632	—	—	6	1,043	5	210
52 其 他	14	485	—	—	(1)	(21)	6	323
消 化 器 ノ 疾 患	714 (8)	14,521 (211)	7	192	2	144	19	617
53 口腔及其附屬器ノ疾患	5	87	—	—	—	—	—	—
54 胃 カ タ ル	145	2,798	—	—	1	83	2	48
55 腸カタル及下痢	107 (1)	1,743 (4)	3	101	—	—	—	—
56 十 二 指 腸 蟲 病	3	213	—	—	—	—	—	—
57 其他ノ腸ノ寄生蟲病	3	86	—	—	—	—	—	—
58 蟲様突起炎及盲腸炎	20	806	2	24	—	—	4	185
60 其 他 ノ 腸 ノ 疾 患	13	391	—	—	—	—	—	—
61 肝 臟 硬 化	2	23	1	63	—	—	—	—
62 齒 齦 炎	22	232	—	—	—	—	—	—
63 口 内 炎	2	26	—	—	—	—	—	—
64 顎骨及其周圍ノ組織ノ疾患	8	160	—	—	—	—	—	—
65 齒牙硬組織ノ疾患	45 (1)	779 (29)	—	—	—	—	—	—

前表ノ續	治癒		死亡			制限期間ヲ 超エ給付打切		未治癒	
	件數	療日 養數	件數	療日 養數	件數	療日 養數	件數	療日 養數	
66 齒髓ノ疾患	137 (3)	2,542 (85)	—	—	—	—	3	33	
67 齒根膜ノ疾患	117 (3)	2,170 (93)	—	—	—	—	5	128	
68 齒ノ神經痛	8	80	—	—	—	—	—	—	
69 其他	77	2,385	1	4	1	61	5	223	
泌尿生殖器ノ疾患	26 (2)	1,060 (87)	—	—	1	180	2	96	
70 急性腎臟炎	5 (1)	128 (25)	—	—	—	—	—	—	
71 慢性腎臟炎	1	70	—	—	—	—	1	71	
72 女子生殖器ノ良性 腫瘍及其他ノ疾患	(1)	(62)	—	—	—	—	—	—	
73 其他	20	862	—	—	1	180	1	25	
皮膚及皮下組織ノ疾患	109	2,370	—	—	1	107	7	270	
76 瘰癧	3	53	—	—	1	107	—	—	
77 癬及癰	16	254	—	—	—	—	1	3	
78 蜂窠織炎及急性膿 瘍	30	527	—	—	—	—	3	69	
79 白癬禿頭病及疥癬	7	300	—	—	—	—	—	—	
80 濕疹	18	515	—	—	—	—	1	63	
81 其他	35	721	—	—	—	—	2	135	
骨及運動器ノ疾患	27	853	1	78	1	160	3	50	
82 關節ノ疾患	15	370	—	—	—	—	1	9	
83 其他	12	483	1	78	1	160	2	41	

前表ノ續	治癒		死亡			制限期間ヲ 超エ給付打切		未治癒	
	件數	療日 養數	件數	療日 養數	件數	療日 養數	件數	療日 養數	
外因死傷	48	893	1	7	—	—	2	73	
91 打撲傷	11	122	1	7	—	—	—	—	
92 擦過傷	1	1	—	—	—	—	—	—	
93 火傷	4	88	—	—	—	—	—	—	
95 切傷裂傷及刺傷	10	141	—	—	—	—	—	—	
97 脫臼	3	113	—	—	—	—	—	—	
98 挫傷	9	160	—	—	—	—	1	12	
99 骨折	5	165	—	—	—	—	1	61	
100 其他ノ負傷	5	103	—	—	—	—	—	—	
私傷病計	1,685 (14)	39,431 (332)	33 (1)	1,158 (16)	29 (1)	3,983 (21)	92	3,354	

療疾トナリ療養ヲ止メタルモノ

	人員	本年度ノ療養日數
腦出血	1	15
肺炎	1	95
慢性腎臟炎	1	112

給付辭退ノ爲療養ヲ止メタルモノ

	人員	本年度ノ療養日數
肺結核	2	236
神經衰弱	1	21
血行器疾患	1	43
肋膜炎	1	33
計	8	

寄生蟲病豫防の心得

内務省社會局保險部編

人の體を蟲が食つて居ると申したら驚かるゝことでありませうが事實吾々日本人中には蟲に食はれて居る方が却々多いのであります。此の蟲が即ち寄生蟲と申すもので都會生活者の五十パーセント農村生活者の八十パーセントは此の害を蒙つて居るのであります。

寄生蟲位百害あつて一利のない生物は他にありますまい種類も澤山で寄生する場所も好み好みで決して一樣ではありませぬ。日本人の體を完全に健康にするには結核、花柳病、トラホームと寄生蟲の撲滅をなすにあるとは其の道に携つて居る人々が常に申して居る事柄で誠に其の通りであります。

皆さん願くば蟲に食はれない様に其の豫防、其の撲滅に力を盡そうではありませんか。

十二指腸蟲にかゝるのは夏の朝露のある時分に野菜畑等に這入ると露のしづくに潜んで居る幼蟲が人の體に移つて傷のない健全な皮膚を食ひ破つて體内に這入ることにあるのであります斯くして幼蟲は小腸に達して五週間位たつて約一センチ半位の白い絲屑位の大きさになつて盛

んに害を致します。

之れといふ原因もなく次第に貧血して顔も手も足も蒼白くなり少し労働でもすると直ぐ息が切れる様なことがあつたら結核でなければ十二指腸蟲に犯されて居ることが多いから早速保險醫の診察をうけ檢便して貰ふが賢明なやりかたであります。

漬菜等の野菜を生で食べるのは寄生蟲感染の危険があります食膳に上つて居る香の物にも蛔蟲の幼蟲が附いて居ることは珍らしくありませぬ農村の子弟が殆んど百パーセント蛔蟲に罹つて居りますのも原因は全く茲にあるのであります。

無暗に食慾があるに係らず身體が肥らない時々嘔き氣がしたりシクシク腹が痛かつたりしたら其の多くはあの蚯蚓の様な形をした蛔蟲の寄生の爲めであることが多いから一日も早く驅除して貰ふがよい。

海人草は何處の藥種商にもあり三錢か五錢もかへば一家族に用ふるに充分で之を土瓶に入れて水を加へてよく煎じ一回に飲むと大抵一度か二度の服藥で蛔蟲を追ひ出して終ひます。

大人でも子供でも肛門が痒いとき注意して猿股を見ると屢々一センチ位の小さな蟲が出て居る之れが即ち蟯蟲で早く驅除して貰はないと一家族に蔓延する恐れがあります。

牛乳の様な色の小便が出たり皮膚が象の皮の様に厚くなつたり陰囊が膨れて大きくなつたりする病氣が南方日本に屢々見られます之れはフィラリアといふ寄生蟲の爲めで恐ろしい難病であります蚊が此の幼蟲を持つて居て人に傳染さす爲めに起ることはマラリアと同様で豫防上には蚊の驅除が何よりも大切であります。

澤蟹、毛がに、ざりがになど言ふ陸蟹は忘れても生で食つてはなりません其の中には肺臓デストマの幼蟲が潜んで居て危険此の上もありませぬ之れに罹ると肺を害ひ咯血を起します。

東京府下荒川筋千葉茨城山梨沼津在岡山廣島佐賀の水田溝渠には日本住血吸蟲といふ恐ろしい寄生蟲が居て之れに罹ると赤痢の様になり肝脾が膨れて來て終に命をとられます然し幸にも今日は特殊療法が発見せられましたから若しも之れにかゝつたら一日も早く療法をうけるがよい。

はや、もろこ、ひがひ、かはさぎ等を生でたべ又は生焼け生煮で食べると肝臓デストマに犯され肝臓は膨れ腹に水がたまつて腸まんになつて死んで終ひます。

鮎も生や生やけでは食べない様に致したい何所の鮎にもメタゴニムスといふデストマの幼蟲が居て之れに罹ると腸加答兒を起すことがあります。

牛肉はよく煮てたべ血の色の變らない位の半煮の儘で

食べますと屢々其の中に潜んでゐる縲蟲に犯されます此の縲蟲は無鈎縲蟲と申して近頃日本には却々多くなりました。

鱒や鮭は決して刺身にして食つてはなりません此の中に裂頭縲蟲と申しますさなだむしの幼蟲が居ることが多いからですが併し充分に焼くか煮れば幼蟲は容易に死んで終ひます。

以上に述べた食物はよく煮て食べるのが最も安全で寄生蟲病の豫防になります。

數多い寄生蟲の中でなんといふても大半は人の腸に寄生するものでありますから其の撲滅は人糞の中にある寄生蟲の卵を殺す事にあります尤も簡単な方法は人糞と尿とを混ぜて三週間位腐敗させることであります。

斯くすると腐熟に依つて其の中の卵は總て死んで終ひます其の後でなければ田畑へまき野菜の肥料としない習慣を作ることは誠に大切でありまして其の實行には各農家に大溜二個以上を備えさせ糞尿腐熟を實行後利用させるがよいと思ひます。

(30)

蛔蟲驅除藥海人草の飲み方

1. 海人草は一人當り一回十五グラム(約四匁)を水0.1リットル(約五勺)に入れ半分位になるまで、とろ火にかけて十分に煎じつめ、それを茶碗湯呑等に入れて一度にグット服用すること。
2. 此の薬は空腹時に服用するのが一番効果がありますから成べく朝食前に飲むこと止むを得ない場合は晝食前に飲んでもよろしい。
3. 此の薬は多少量が多くても何等の危険がありませんから安心して薬は残さずに飲むこと。

昭和六年九月二十八日印刷

昭和六年九月三十日發行

内務省内

土木事業従事員共済組合

東京市京橋區横町一丁目一番地

印刷者 西 脇 嘉 市

東京市京橋區横町一丁目一番地

印刷所 一 成 社

14. 4-823



1200501208842

14.4

823

終